



北大阪商工会議所 青年部
会長 西森 治貴

北本会頭と西森会長との 対談



北大阪商工会議所
会頭 北本 明

平成29年4月17日(月曜日) 14:00～

場所 北大阪商工会議所 会頭応接室

1. はじめに

西森青年部会長：本日は大変お忙しいところ、貴重なお時間を頂き、本当にありがとうございます。平成29年度をスタートさせて頂き、まずは北大阪商工会議所 北本会頭から、北大阪商工会議所青年部(以下、「青年部」という。)対しまして、一言頂きたいと思いますが、よろしいでしょうか。

北本会頭：平成29年4月14日に開催されました平成29年度青年部定時総会において、平成29年度北大阪商工会議所青年部会長に西森会長がご就任され、心からお喜びとお祝いを申し上げます。

平成29年度は、300名を超える会員を引っ張る力強いリーダーである、西森会長との対談ということで楽しみにしておりました。どうぞよろしくお願いたします。

西森青年部会長：過分なお言葉ありがとうございます。それでは、早速ではございますが、本年私達青年部は創立35周年という節目の年を迎えまして、諸先輩方が35年間永きに渡り築いてこられましたおかげで現在の活動が行っております。商工会議所の一翼を担う青年経済人として、平成29年度の青年部活動に取り組んでいこうと思っております。

北本会頭：平素は北大阪商工会議所活動に対しまして、青年部の皆様から力強いご支援とご協力を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

商工会議所は、地域の商工業者の世論を代表し、商工業の振興に力を注いで、国民経済の発展に寄与するための地域経済団体です。青年部がその一翼を担おうと熱い気持ちでいてくれるのは、会頭として心から感謝申し上げますと共に大変誇りに思っております。

2. 平成29年度青年部スローガン『人と人との出会いを大切に、愉しく行動しよう～内的インセンティブを高めて～』について

西森青年部会長：平成29年度は『人と人との出会いを大切に、愉しく行動しよう～内的インセンティブを高めて～』とスローガンを掲げさせて頂きました。青年部があたりまえのことをあたりまえにできる組織に成長しようと皆で考え構築を進めて参りました。平成27年と28年に専務理事を2年間務めさせて頂き、現在の組織を考えると、縁あって入会して頂いたのですから青年部全メンバーとの出会いを大切に、愉しく活動して頂ければと思っておりました。ここ3年間で新会員が220名ほど入会され、愉しくなければ組織にも活動にも仕事にも繋がらないと思います。近年の行動経済学で、内的インセンティブとは「非認知能力」のことで、地域のために貢献する目標を持つという意味合いです。ペーパーテストで測ることができる「認知能力」に対して、学力や偏差値教育では測れない協調性や忍耐力、計画性、心身の健康などの「生きるためのスキル」を「非認知能力」と言わ

れています。内的インセンティブとは、今の仕事に一生懸命取り組むのが楽しい、仕事を通じて社会に貢献したい等、多かれ少なかれ人間が持っている内なる感情で生産性に大きな影響を与えるものであり、成長・自主・目的が重要な要素だと考えます。青年部活動の過程の中でどのように内的インセンティブを高めるような環境を用意するか、青年経済人に問われていると思います。青年部の活動で自身が本当の青年経済人になれるよう繋げて頂きたくスローガンに掲げました。

北本会頭：そうですね、商工会議所活動は会員企業様の発展のためにあらゆる支援をさせて頂くと同時に地域の活性化に貢献していくことを目的としています。西森会長の平成29年度スローガンの言葉の中に力強いリーダーシップと並々ならぬ意欲を感じております。青年部の皆さんは今一番人生で活躍できる若さと能力を兼ね備えた最も勢いのある年代です。「愉しみつつも、常に更なる高みを目指し挑戦者として臨む姿勢が成長に繋がり、それがリーダーとしてあるべき姿だと考える」この会長のお言葉こそ、「活力あふれ行動する商工会議所」の創造を目指す、当所の活動にも沿うものであります。

商工会議所はそのためのお手伝いをさせて頂く所であり様々な相談に対応させて頂きます。スローガンにもございます『人と人との出会い』ですが、商工会議所には事業に成功された多くの先輩や知識人がおられます。それらの方々と商工会議所活動を通じて話し合えば自分でどうしても解決できなかったような難問でも教えて頂くことがあります。青年部の皆様にも大いに相談して頂くようお勧めいたします。

西森青年部会長：ありがとうございます。私たちが本当のリーダーになれるよう会議所の大先輩方に、大いに相談を持ちかけるよう、青年部メンバーにも発信したいと思います。

3. 枚方オクトーバーフェスト

西森青年部会長：昨年度より始まった新たな事業で、地域経済の活性化を目的に北大阪商工会議所本会と青年部そして、官民が連携して平成29年9月に第二回目の枚方市駅前大収穫祭が開催されます。その中核事業として、9月15日から24日まで枚方オクトーバーフェスト2017を枚方岡東中央公園にて、昨

年に引き続き青年部の主催で企画、運営させて頂きます。

北本会頭：そうですね。昨年は第一回目の開催で、天候不順や雨で一日中止になる中、27,000人の来場者を集めて大成功を収められ、青年部の皆さんの頑張りに敬意を表する次第です。

枚方オクトーバーフェストの特徴は他のオクトーバーフェストと異なり、市・商工会議所・青年部が主催で行う地域活性化事業というところに特徴があります。まちの賑わいや活力は、そこに住む人・勤める人・学ぶ人・訪れる人が創り出します。まちの活性化は人々の交流から生まれるもので、そうしたコミュニティの場を創り出すことが必要です。第二回目となる今年度は、より内容を充実させる必要があります。来場者をいかに周辺施設や商店街へ誘導するか、賑わいの連鎖を生み出し周辺への経済波及効果をいかに高めていくかが今後の活性化に向けた大きな課題と言えます。本年度は、これまで取り組んでまいりましたまちづくりの活性化手法の他地域への展開、また地方創生の加速化とこれを担う青年部会員の皆さんを始めとする、中小企業の挑戦を後押しする施策・事業展開を積極的に展開してまいります。

4. 会員拡大・組織継続

西森青年部会長：28年度の根幹は会員拡大ということで目標300名を掲げ、川北直前会長と邁進しました。

会員数が300名を擁する組織に成長し、いつの時代も新たなことを行うのは青年が中心であることは間違いありません。しかしながら、この組織という力を最大限に発揮するためには、会員の繋がりを大切にしていく必要があり、繋がりを今以上に強固なも



のとし、組織として行動することが求められます。平成29年度も現在43名の新会員に入会して頂きました。私達も会員拡大は根幹だと考えておりますが、商工会議所にとっても、会員拡大は至上命題かと思えますが。

北本会頭：確かにそうですね。このたび日本商工会議所総会において、北大阪商工会議所が組織強化表彰を受賞いたしました。これには青年部の会員拡大が大きな支援になったと、正副会頭役員一同、心から感謝しております。28年度には82名の新入会員を獲得する驚異の会員拡大を実施され、総数も300名を超す、全国でも屈指の団体に成長されました。その拡大は商工会議所にとっても、かけがえのない力となり、会員数が増えることは私たちにとっても素晴らしいことです。経済団体も事業の質の高さが問われ選択される時代を迎える中、組織力、財政基盤の強化・確立が大変重要になっています。青年部の活発な活動に会頭として感謝をし、本会としても心強く思っています。

西森青年部会長：北本会頭は20代で幸福米穀株式会社を創業され、約50年を迎える会社に育て上げられました。会社・事業を拡大しつつ新社屋も新規に建てられるとのことで、事業を継続させる秘訣を私たち青年部メンバーに教えて頂ければと思うのですが。

北本会頭：私は昭和33年に和歌山の工業高校を卒業し、18歳で大阪に出てきました。まず米穀店を営む叔父のもとで9年間修業し、27歳で独立、創業いたしました。最初にお店を開いたのは大阪府門真市です。当時の門真市は松下電器産業(現在のパナソニック)のお膝元で、市長が「松下に勤める社員が幸せに暮らせるように」と名付けた『幸福町』という町がありました。その名前の由来を知った私は、お店を出すならここだ、と思い、『幸福米穀』という屋号を決めました。そのころのお米屋さんは免許制で、だまっいても利益が出せる環境にありました。でも私は、それが「本当にお客さまに喜んで頂ける商売なのか?」と、つねづね疑問に思っていたのです。そこで創業にあたっては、自分の毎月の給料を5万2,500円と考え、それ以外の利益はお客さまに「安売り」や「景品」で還元しようと考えたのです。これがお客さまに好評で、そのうち口コミで噂

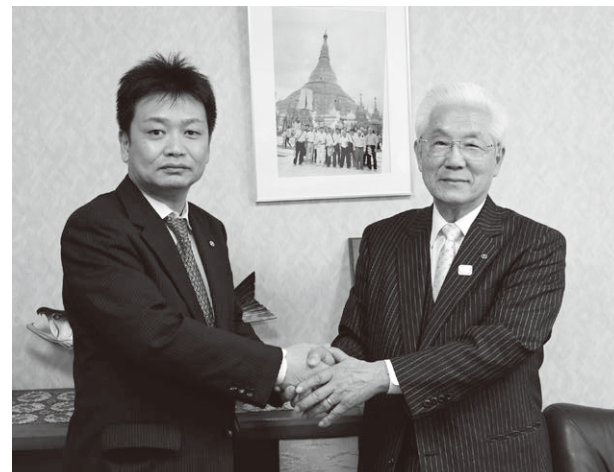
を聞きつけ、大阪府全域からお客さまが集まるようになりました。それがきっかけで軌道に乗った事業ですが、その事業を卸売業に転換させる気付きがありました。それは、沖縄返還の年(昭和47年)、すでに米販売が自由化されている沖縄を視察すると、当時人口100万人程度の沖縄には、お米屋さんが1万件もあり、激しく競争していました。それが、自由化後の国内の米販売にも当てはまると。でもその沖縄でも、卸売業者はわずか4社ほど。つまり将来的な自由化のもとで生き残る道は、卸売りしかないと悟りました。事業をスムーズに転換し会社を発展継続できた理由のひとつは、この沖縄での経験を教訓に準備を続けてきたことだと思っています。

西森青年部会長：なるほど、ありがとうございます。つまり先見性・気付きと、それを実行する行動力が重要ということですね。ぜひ私達青年部の組織運営に繋げ構築し、300名の会員を維持する大きなヒントにさせて頂きたいと思います。アンテナを高く張り、情報収集・情報発信を積極的に行うことにより、会員が迷わず歩みを進めることができることを、肝に銘じて行動したいと思っています。

北本会頭：青年部の活動により、北大阪全体の商工業者の交流や経済活動が活発になり、地域を盛り立てることになります。若い青年経済人が、積極的に事業に取り組むことを嬉しく思っています。

商工会議所の活動には、大企業も中小企業も、みんな力を合わせて、都市を住みよく、働きやすいところにしてほしいという念願がこめられています。

青年部の皆さんも、ともに頑張りましょう。





Young Entrepreneurs Group

北大阪商工会議所 青年部

会員募集

北大阪商工会議所青年部
● 定時総会・懇親会 YEG



若き起業家集団

同じ地域の経営者として、いろいろな考え方や個性を持った仲間達に出会えば…
きっとあなたの会社の経営にも活かせることが見つかるはず!

2017年度スローガン

人と人との出会いを大切に、愉しく行動しよう ～内的インセンティブを高めて～



〒573-8585 枚方市大垣内町2-12-27 TEL: 072-843-5163 FAX: 072-841-0173
北大阪商工会議所青年部事務局 <http://kitaosaka-yeg.jp/>